

タイトル (活動概要)	62 クラスをパワーアップ やれば出来る!	アプローチ (関連する力)		「自分づくり」① 「集団づくり」⑰ ⑱	
タイミング (実施時期)	行事前	活動 場所	教室	所要 時間	45分
対象学年	幼・小低・ 小中 ・ 小高 中1 ・ 中2 ・ 中3 ・ 高	対象 規模	学級	活動 場面	学活 総合
活動の ねらい	<p><背景>群れ合い体験の不足から、集団で取り組む力が弱い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確化・具体化・序列化し、合意形成を図ることで、グループやクラスの成員間に一体感とやる気を起こす ・子どもの中にある課題意識を掘り起こし、今できることを明らかにして、学級集団の凝集性を高める 				
準備	・付箋紙 ・画用紙（4切り） ・フェルトペン				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> クラス課題や係り活動、当面の行事（学級目標、合唱コンクール、スポーツフェスティバル等）を成功させるための方法を話し合おう </div>					
2 主活動 <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成のために、やらなければならないと考えていることを付箋紙に書きす ・グループになって、全員が書いた付箋紙を出し合う ・囲みの中で必要度の高い順に付箋紙を並べ替える ・小見出しに、重要度の高い順に番号をつける ・グループの画用紙に、皆にアピールするようなタイトルをつける ・各グループからの説明を聞く（全部のグループの画用紙を黒板に貼りだす） ・質問や、意見を述べ合う（必要に応じて、クラス全員の合意形成や、グループの分担のための話し合いをする） 		<ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を関連するグループにまとめ、グループごとに集めて画用紙に貼り、線で囲んで小見出しをつけるようにする ・「やるべきこと」の質や量に圧倒され、自他への怒りやあきらめを増幅させることのないよう「できることからやること」の大切さを説く 		付箋紙 画用紙 フェルトペン	
3 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りシートを書く。 					
配慮事項	・各自の考えを温かく受け止める雰囲気を作れるように、始まる前にブレインストーミング等を用いるとよい				

参考；犬塚文雄「教育カウンセリング」（福音社 2000年）